

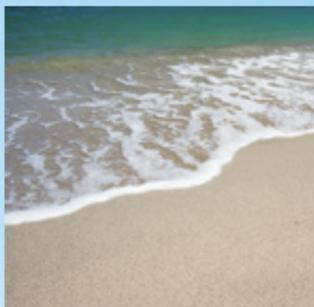
海と、



Living with The Sea

Shin-onsen-cho faces the Sea of Japan and has prospered as a fishing port and, in earlier times, was also used by cargo vessels. In recent years, the sea has provided natural resources and supported a flourishing tourist industry with swimming and other marine activities. We appreciate the value of the sea to our community and recognize our responsibility for environmental conservation for the benefit of future generations.

新温泉町の海は、昔から漁業や廻船業を通して栄え、山陰屈指の港として交流が活発に行われてきました。さらに近年では魚介類などの豊富な自然資源と海水浴やマリンスポーツなどの観光業が人々の生活に多くの恵みと潤いを与えてくれています。人と自然との共生が求められている現在、新温泉町では、この豊かな恵みと潤いをもたらす海に感謝し、後世に引き継いでいくために、環境保全や資源確保などのさまざまな取り組みを行っています。



海のもつ造形美と癒しの力。

西は岸田川河口から東は町境の伊笹岬までの区間にある「名勝・天然記念物但馬御火浦」を擁す新温泉町の海岸線は、昭和38年7月に山陰海岸国立公園に指定されています。山陰海岸の大部分は山地が直接海に接しているため、鋸岬にある旭洞門や、釣鐘洞門、三尾大島などのような、荒波により浸食されてきた奇岩や洞門といったさまざまな自然の造形美が随所に見られます。

また、近年は海そのものが持つ癒しの力が注目が集まっています。海の青色は常に多くの人に安らぎを与えることで、感情的な興奮を抑え緊張や圧迫感を和らげる沈静効果があるといわれています。さらに、潮風に含まれるマイナスイオンは、私たちの副交感神経に働き、心や体を落ち着かせてくれます。



獅子の口



孔雀岩



山陰海岸ジオパークの推進と松林の環境保護活動

「ジオパーク」とは、科学的に見て特に重要で貴重な、あるいは美しい地質遺産を複数含む一種の自然公園です。地質遺産保全と地球科学普及に利用し、地質遺産を観光の対象とするジオツーリズムを通じて地域社会の活性化を目指しており、ユネスコの支援のもと、すでに欧州や中国で積極的に取り組まれています。山陰海岸においても、京都府、兵庫県、鳥取県の民間団体や行政機関が連携しながら、特徴的で魅力的なジオツーリズムを展開し、地域経済の活性化と環境保全、教育の推進を図り、持続可能な地域社会の発展につなげていく活動を進めています。山陰海岸ジオパークは、この活動が認められ、平成20年には日本ジオパークネットワークへ加盟、翌21年には「世界ジオパークネットワーク」の国内候補地となり、22年度中の世界ジオパーク加盟を目指しています。



稚苗の植樹活動



松林での県立浜坂高等学校生徒による吹奏楽コンサート

また、浜坂県民サンビーチの南側に広がる約4ヘクタールの「松の庭（クロマツ林）」の美化、保護活動も行っています。「但馬浜坂浜の松を大切にする会」による美化活動が、昭和56年の発足以来、地道に続けられています。近年では県立浜坂高等学校による絵画・書道展や吹奏楽コンサートが催行されるなど、住民の憩いと安らぎの場として親しまれています。平成15年からは、保安林改良事業として稚苗を植樹し、行政、住民が一体となったの保護活動を展開しています。



松の庭